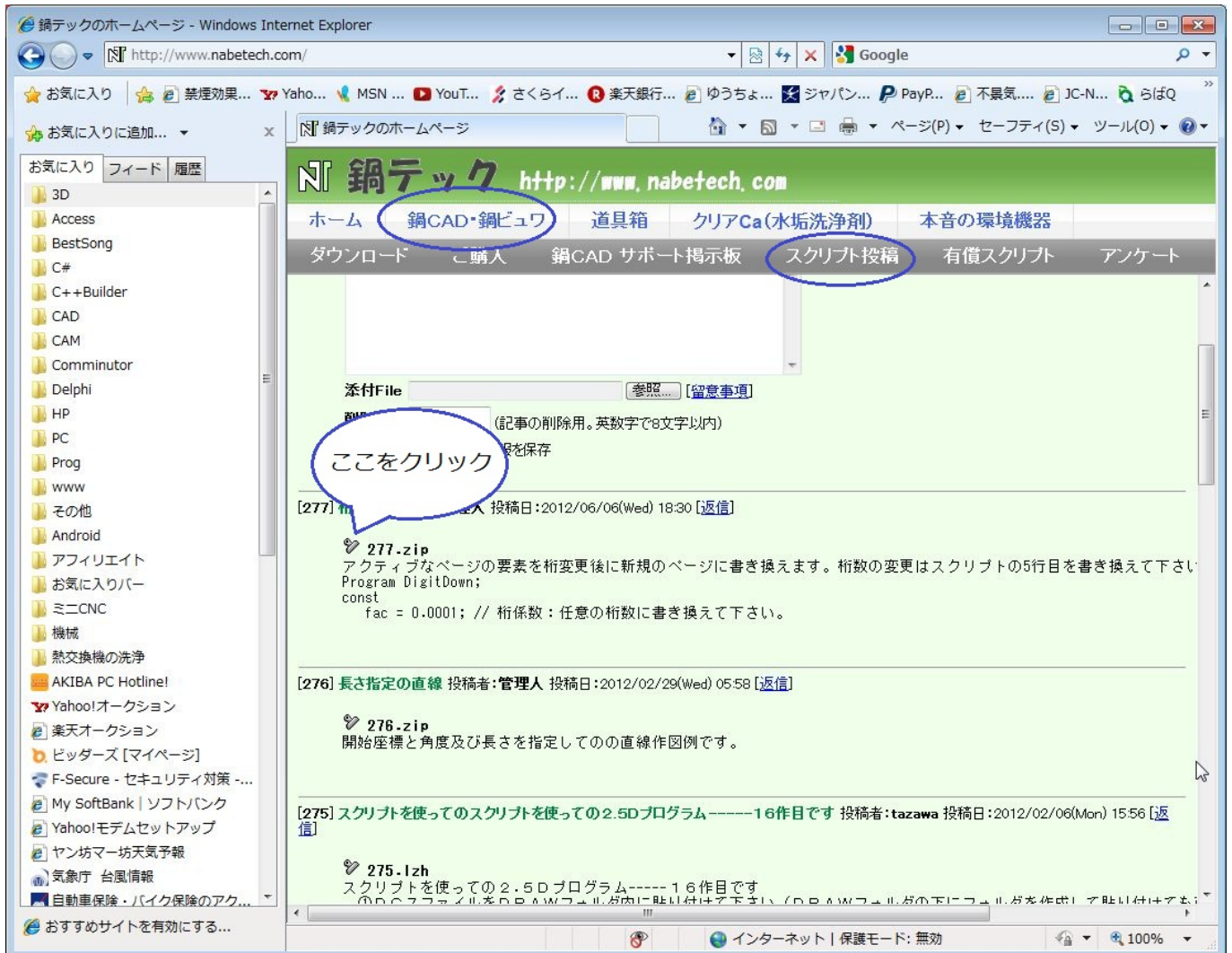


【1】鍋CADのスクリプト

鍋CADの特徴である内蔵スクリプト（インタープリタ言語）は、標準コマンドにない機能を独自に追加することが出来る拡張機能です。

プログラムは入門用言語であるパスカルを基本とした解りやすい言語仕様ですが、初心者の方が最初から作るには大変なので、弊社HPのスクリプト投稿からダウンロードしたものを使うことからをお勧めします。必要なスクリプトをダウンロードするときはクリップのアイコンをクリックして下さい。



ここでは[276]の長さ指定の直線をダウンロードします。

ほとんどが圧縮形式になっていますので、スクリプトフォルダにダウンロード後展開します。

スクリプトの規定のパスは C:\NTCAD\SCRIPT になります。

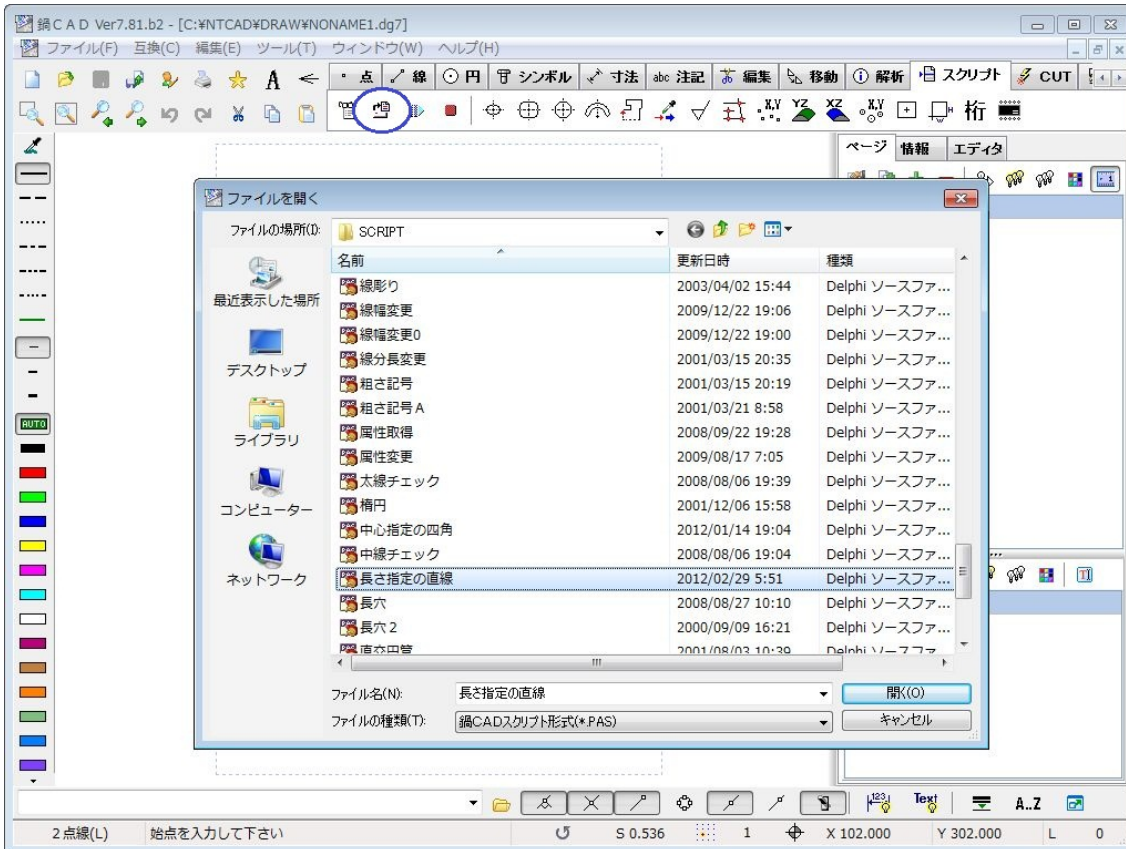
このスクリプト投稿コーナーに投稿されているスクリプトは有志の方々からの贈り物であり、鍋CADスクリプトを理解するための貴重なサンプルでもあります。

無料であり改造も自由なので、作者の方々への感謝をしつつお使い下さい。

スクリプトの仕様と説明はヘルプに載っていますが、解らない事はサポート掲示板にてお問い合わせ下さい。

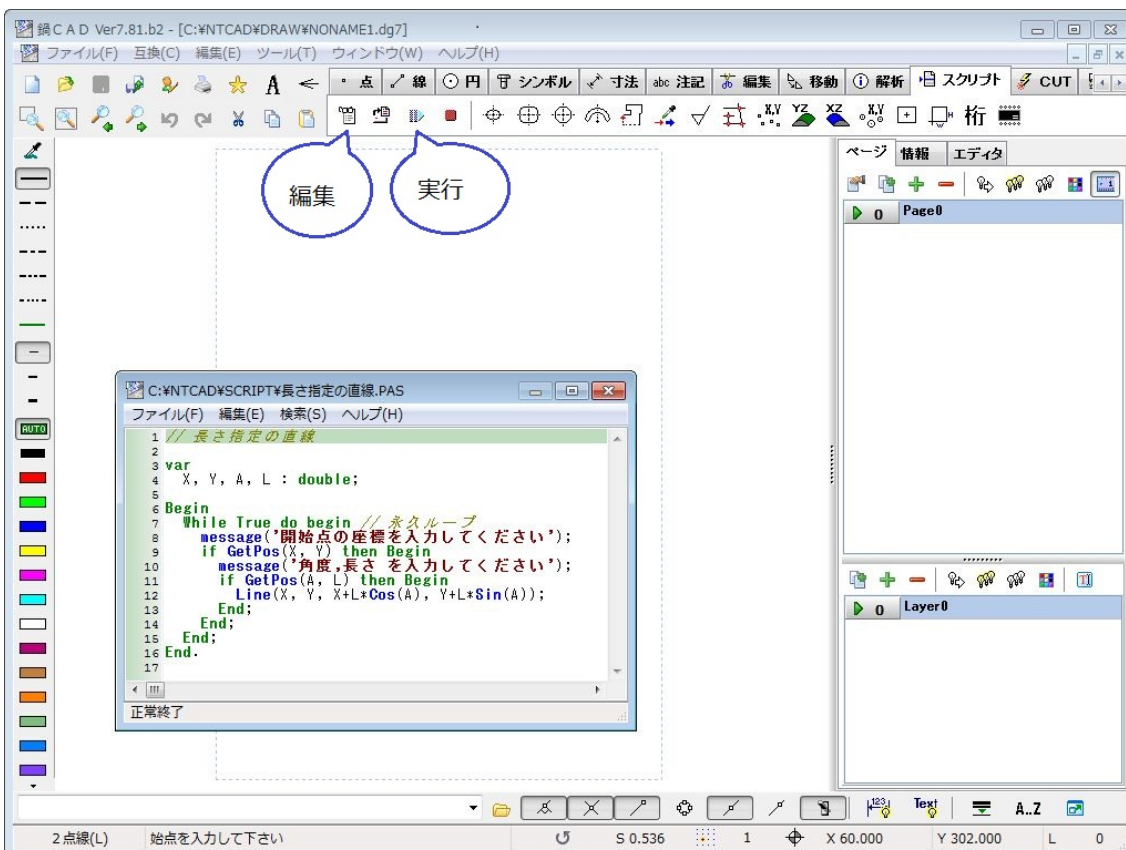
【2】スクリプトのロード（読み込み）と実行

まず、鍋CADを起動して、スクリプトタブの読み込みからこのファイルを読み込みます。



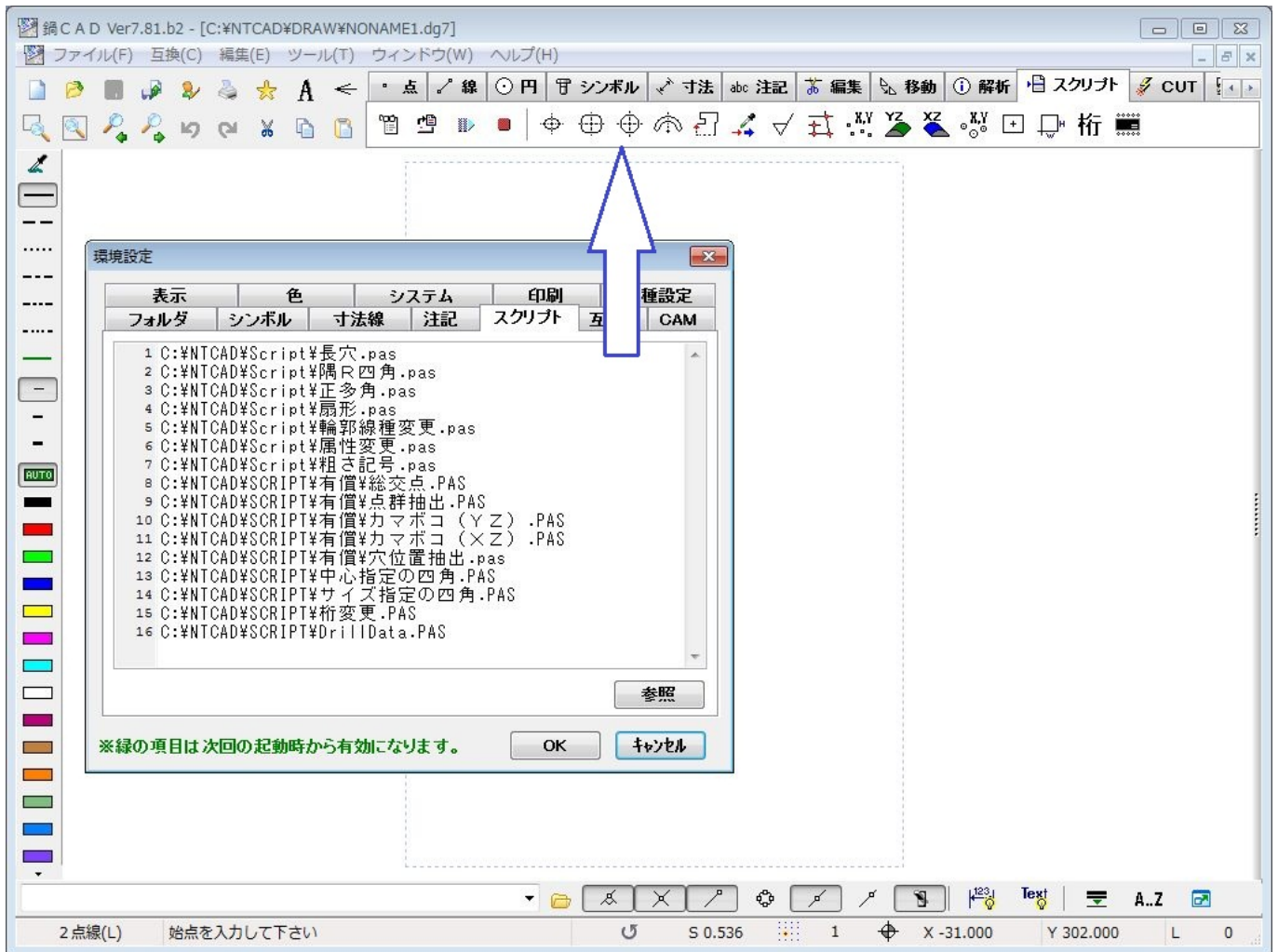
編集ボタンを押すとスクリプト専用エディタが表示され中身が確認できます。

そして、実行ボタンを押すとスクリプトが実行されます。



【2】クイック起動への登録方法

使用頻度の高いスクリプトをいちいち読み込むのは面倒なので、コマンドパネルにボタンとして登録する機能が有ります。



登録後に一度再起動する必要がありますが、以後は普通のコマンドボタンとして便利に使うことが出来ます。以上、スクリプトの使い方をご理解頂き、有効活用して下さい。

なお、ご不明の点は、サポート掲示板にて質問して下さい。
※メールによる個別サポートは行っておりません。



鍋テック 担当 坂田
E-Mail info@nabeteck.com
HP <http://www.nabeteck.com/>